

発行日：2014年4月1日

「地域で心豊かな生活を」、実現のために

社会福祉法人 もえぎの会

理事長 野村 和成



消費税増税で、新年度を迎えましたが、「景気回復の恩恵」「安心安全の確保」「将来の展望」など、相変わらず期待と不安の錯綜する日本です。明確に先の見えないこのようなときこそ、ただ手をこまねているのではなく、次に向けて行動すべきです。

もえぎの会は、「我が子の幸せは自分たちの手で創り上げていく」という『自助自立』の精神で、できるだけ自ら行動することを心がけています。そして、法人の理念の一つとして「地域に理解され、地域に貢献できるように地域に根ざした個性ある福祉サービスの創造をはかります。」としています。そのために、地域の皆様との交流の場をできるだけ多くするように、目黒で実施されるイベントなどには、可能な限り参加しています。後援会活動も活発にし、財政支援だけでなく、一緒に活動したり、会員の力をお借りしたり、会員の期待に応えたりと、多くの人の協力により、前向きに取り組んでいます。

もえぎの会の活動を開始して、30年以上経過し、小さな実践の積み重ねで実績を上げてきました。しかし、抱えている課題の多くは、もはや、もえぎの会単独で解決することが難しく、行政や他の事業者と連携して実現するものです。法人内部の課題は、改善に向けた活動を継続していますが、目黒という「地域で心豊かな生活を」という夢を実現するためには、関係する人たちの連携がさらに重要な段階にあると考えています。そのため、毎年設定しているイヤーモットーを今年は、「地域の連携」としました。

2006年に施行された障害者自立支援法(現在は、障害者総合支援法)により、障害福祉サービスの提供主体は国から区市町村に移管されました。それに伴い地域の福祉を検討するために、都道府県、区市町村に自立支援協議会の設立が義務付けられました。従来は、全国一律で細部にわたり決められたサービスを実施するだけで、地域の特性や個々の特性に合わせた支援や現場の知恵はあまり生かされませんでした。この新しい制度にはいろいろ問題はあるものの、地域の特性や相違が生かされる可能性を求めた協議会の設置に大いに期待しました。目黒区では当初は必ずしも積極的な活動ではなく、設置も遅れ、行政主導で運営されていました。しかし、運営を重ねる中で、現場から声を上げる機会が増え、積極的に参加する意欲が高くなってきました。ネットワークが構築され、課題の共有ができてきました。これは、「地域で心豊かな生活を」という夢の実現だけでなく、近い将来予測される直下型地震への備えや復旧にも強い力になると確信しています。

核になる活動やその成果は少しずつ積み上がっていますが、行政の壁や地域の理解などの課題は、一部の力で解決できることはありません。関係者の力が結集して、地道な活動をして成し遂げるものであります。一人ひとりの力は小さくても結集すると大きな力になります。限りなく存在する地域のニーズに応え、障害者と家族の更なる安心を向上させ、法人運営の基盤強化をして、「地域で心豊かな生活を」の実現ために、引き続き、新しい挑戦を続ける所存であります。皆様の更なるご支援をよろしくお願い申し上げます。

しいの実社 2014年度事業計画

4月からの消費税の増税と円安や異常気象による価格の高騰のため、しいの実社でも製品価格の見直しを行っています。継続して、内部努力を続けていますが、事情をご理解のうえ、今後とも、よろしくお願いいたします。

しいの実社は、事業拡大に伴い、社員・スタッフが増えています。そのため、スタッフの育成計画に基づく研修計画を立て、長期的に安定した組織により、支援の質の向上が継続するように努めていきます。また、社員、家族との情報共有を密にし、連携を深めて、日常の生活、将来の人生が豊かに幸せになるように取り組んでいきます。

重点課題

3事業の運営ですが、毎年、しいの実社の利用を希望する方がありますので、定員を40名から50名へ変更します。併せて、スマイルプラザに就労継続支援B型を開設します。社員の高齢化、体調の変化に合わせて、本人に添った支援やプログラムの提供をしていきます。

(1) 就労継続支援B型事業

- ① 各部門の役割、特徴の明確化
- ② 社員の仕事配置の見直し
- ③ 工賃向上の継続

(2) 生活介護事業

- ① 社員の生活の安定
- ② 社員の特性に合わせた仕事の提供
- ③ 体力の向上、生活の幅を広げる活動

(3) 就労移行支援事業

- ① 就労に向けた知識の習得
- ② 生産維持と社会参加の両立
- ③ 一般就労の実現

さらに、年間行事として社員旅行、しいの実祭、11施設交流会をはじめ、土曜開所による余暇活動などを実施します。社員の高齢化対策や健康管理のため、健康診断、健康相談や健康体操などを実施します。

社員が地域で生活していくために、地域の皆様に、障害を理解していただく地道な活動を継続します。学校の職場体験、施設見学、職場実習、商店街や町会のイベントへの参加などに積極的に取り組みます。

2014度 もえぎの会 事業報告会・懇親会 のご案内

下記のように本年度の開催を予定しております。

7月26日(土) 目黒区総合庁舎 2階大会議室

改めて、ご案内をお送りいたします。ぜひ、お誘いあわせの上、ご出席していただきますようお願い申し上げます。

第12回 しいの実祭 開催

昨年11月23日に開催し、当日は天候に恵まれ、前年を上回る1400人のご来場者があり、大盛況のうちに終える事ができました。地域に少しずつ理解が増えていることを実感しました。

毎年の新企画のひとつとして、社員によるコンサートをしました。この日のために練習した歌やハーモニカを多くの来場者の前で披露でき、緊張しながらも貴重な経験になったようです。

『つながる』をテーマにした今年のしいの実祭は、日頃の活動を地域の皆様に披露し、社員・スタッフも楽しんで、皆様と交流し、理解を深めていただく目的に少しでも近づいたと実感しました。ご協力頂いた全ての皆様に御礼申し上げます。



オープニング



受付



織物実演



3階喫茶

しいの実社外出企画

しいの実社では、毎年研修旅行や土曜日開所の余暇企画としての外出と就労プログラムで社員が企画する外出に加えて、今年度から作業部門ごとの外出を企画しました。

大人数では個人の希望を取り入れることが難しく、高齢者への配慮や仕事中心のプログラムの見直しの一環として、仕事以外の経験をしていただくことを目的として実施しました。

トップバッターで製菓では東京タワーに行きました。クラフトは、健康管理を目的に碑文谷体育館で、身体を動かしました。受託では、在籍社員が通っているデイサービスの見学と退職スタッフの送別会を実施しました。製パンでは、景色のよい西郷山公園でくつろぎ、織物では、イルレヴァンテというおしゃれなレストランで楽しみました。部門によって、社員もスタッフも違い、回数も場所も部門社員の個性にあったプログラムとなっています。今後も活動を継続し、新しいステップに踏み出す準備したいと考えております。



製菓：東京タワー



受託：駒場苑



クラフト：碑文谷体育館

パン：西郷山公園



織物：イタリアンレストラン「イルレヴァンテ」

